



## 上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（若手研究）

研究代表者 所属・職名 上越教育大学・教諭

氏 名 渡辺 奈穂子

研究期間 令和3年度

|  |  |
|--|--|
| 研究プロジェクトの名称  | 21世紀型能力の育成につながる音楽活動の創造<br>～音楽科における日本の伝統音楽の教材化について～   |
| 研究プロジェクトの概要  | <p>本研究では、日本の伝統音楽を取り入れた音楽活動を通し、子どもが主体となって自らの表現をつくり出したり、表現する楽しさや感動をひろげたりすることができる音楽活動を創造する。そして、他者とかかわりながら音楽的な見方や考え方をひろげていく中で「21世紀を生き抜くための能力+α」を構成する基礎力、思考力、実践力、人間力、教育実践力、学び続ける力を発揮し、高めることを目的とした。</p> <p>そのために、日本の伝統音楽を取り入れた音楽活動を実践し、子どもの資質・能力の育成にどのような効果を上げるか検証する。日本の伝統音楽を取り入れた音楽活動とは、①楽曲の継承や再現にとどまらず、子ども自身により表現をつくり出すこと、②多面的な視点で伝統音楽を見つめる表現・鑑賞活動を担保すること、③音や他者とかかわりの中から新たな価値を見いだしていく場を設定することの3つの条件が揃った活動とした。</p>  |
| <p>研究成果の概要</p> <p>※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。</p> | <p>日本の伝統音楽を取り入れた音楽活動を通して、多様な音楽文化を知り、仲間とかかわりながら表現をつくることで、人や音楽とつながりながら心豊かに生きる自分をつくることにつなげることをねらった。具体的な実践例を以下に紹介する。</p> <p>【2年生「変身わらべうた」】</p> <p>○わらべうたに内在する「呼びかけとこたえ」を生かした音楽づくりをする。</p> <p>○仲間の様々な考えに触れることで、思考を促進する。</p> <p>自分たちの生活や遊びとかかわらせながら、わらべうたの言葉と音楽と動きが一体となる感覚を楽しんだ。楽しめる音楽として浸る中で、「呼びかけとこたえ」「速度」等を生かして、歌詞を替えたり、旋律に変化をつけたりしながら、さらに楽しめる「変身わらべうた」につくり変えていく姿があった。</p> <p>【4年生「和太鼓ソイヤ!」】</p> <p>○口唱歌のリズムパターンによる音楽づくりをする。</p> <p>○身体の諸感覚を使い試行錯誤する場を保障する。</p> <p>○構成における対話的な学びを促進する。</p> <p>創造活動(1組「郷遊記」、2組「ぐるっとバス紀行」)での出来事をモチーフにし、仲間とそのモチーフをつなげたり重ねたりしながら構成を考えた。また、強弱を工夫したり、かけ声や振付を工夫したりしながら、和太鼓のよ</p>   |

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
|                                    | <p>さや迫力を感じながら、オリジナルの楽曲をつくり上げていった。</p> <p><b>【全学年 秋の音楽集会「舞すずめ」】</b></p> <p>○宮城「すずめ踊り」を中核した集会活動を実現する。</p> <p>○祭りのお囃子の中に溢れる音楽性と教材性を生かす。</p> <p>すずめ踊りで使用されている和太鼓と篠笛が演奏されている楽曲を選び、学級毎にオリジナルのすずめ踊りをつくった。楽曲の旋律や音色を生かし、基本の型となる動きとリンクさせながらオリジナルのパフォーマンスをつくった。音楽を介した活動を通して、みんなで一つの表現をつくり上げていく意味や価値を考えていった。</p>  <p><b>【成果】</b></p> <p>日本の伝統音楽を楽曲としてだけでなく、生活やコミュニケーションとかわらせて教材化することは、音楽表現をつくるプロセスにおいて、子どもが感覚や感性を發揮させながら、自国の文化に価値を見出すとともに、新たな音楽的な見方や考え方をつくっていくことにつながったと考える。「こんな表現をつくりたい」という思いや願いの実現に向け、試行と思考を連続させる中で、生きてはたらく知識や技能をつくり、新たなものを生み出す楽しさや喜びを見いだしていった。</p> |
| <p><b>研究成果の発表状況</b></p>            | <p><b>【研究会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第11期教育課程開発研究（3年次）「自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校」子どもの「問い」が立ちあがる教育活動の構想・展開において、「秋の音楽集会」ですずめ踊りを中核とした集会活動を公開する。（動画配信）</li> </ul> <p><b>【Web発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上越教育大学附属小学校ホームページにおいて実践を紹介する。</li> <li>・開校40周年記念ポプラ音楽祭において「和太鼓ソイヤ！」を発表し、YouTubeライブ配信を行う。</li> </ul>   |
| <p><b>学校現場や授業への研究成果の還元について</b></p> | <p>本研究を県内外へ発信することで、新学習指導要領で示されている「我が国や郷土の音楽に関する学習の更なる充実」に向けた、日本の伝統音楽を教材とした学びの工夫の在り方の追究の一助となる。また、作成した動画や教材、活動案等を活用できるようにすることで、伝統音楽を取り入れる音楽活動のよさを多くの教師に紹介でき、21世紀型能力を發揮する心豊かに未来を生きる子どもを育むことに向かうことが期待できる。</p>  |

【提出期限】 令和4年3月31日（木）：厳守